牛道春秋

駐在妻の欄

▼ある休日の早朝、実家の父から一本の電話がありました。▼父の大変回りくどい説明がありましたが、結局伝えたかったことは「財布を失くした。」ということでした。▼それを聞いた私は「ついに来たか。母に続きあなたもか。」と静かに思いました。▼父の説明をまとめると、「数日前に病院に行き、薬局で薬をもらい、巡回バスで自宅に帰った。」「本日、財布を探したが見つからないので、どこかで落とした可能性が高い。」ということでした。▼以前の母の時は「免許証がないないと大騒ぎし、慌てて再発行の手続きをしたら、ひょっこり家の中から見つかった。」というオチだったので、今回も「絶対に家の中にある！」と確信していました。▼が、財布を探すためだけに実家に帰るのも癪ですし、父の意向もあったので、キャッシュカードとクレジットカードの利用停止届を出しました。▼そして、その日の夕方、父から再度電話がありました。▼電話に出なくとも内容は分かっていましたが、嫌々電話に出てみました。▼結果は案の定、財布発見の一報でした。▼財布は冷蔵庫の中から冷たくなって発見されたそうです。▼本人は笑っていましたが、私は「自身が風呂の中で冷たくなって発見されないように、せいぜい気をつけろよ。」と思いました。▼私は冷たい娘です。